Muratter/Vers 1.0

チャットシステム

要件定義仕様書

内容確認段階：　Document Version: 1.0 (2019/5/31)

# 1, 概　要

## 1.1 システム名称について

プログラム名称： Murata’s Twitterの下線部分を拾って、Muratter（ムラッター）とした。（Ruby on RailsのWEBプログラムとして作成する。）

また、日本語表記のシステム名称は、本書において「チャットシステム」とした。

Muratterの「村」には、狭いチャットグループを形成する「ムラ」の意味も持つものとした。

また、この文書を「本仕様書」とし、本仕様書においては、以下「本システム」と称する。

## 1.2 システムの目的

このシステムは、法政大学大学院における「Ruby言語によるオブジェクト指向WEB設計」の授業課題として開発する。

通常のチャットシステムで、既存の「チャット」内容をグループ化してチャットルーム内のメインのトピクスから分離して「サブ」の「狭いムラ」を形成し、チャットループ内のメインの内容の繋がりをわかりやすく、階層化することを特徴とする。

これらの機能を、授業に参加した学生が「設計」し、作業分担を行なって連携して実装する、その過程を体験すること自体を目的とし、システム自体は特定の目的を有さない。

設計経験を積むことが目的であるため、システムの「要件」については流動的に変わることもあるものとする。

## 1.3 システムの連携

想定しない。

# 2, 機能概要と用語の定義

2.1 機能概要

1. システムへの参加

システムへの登録は、自己登録制とする。

チャットルームに参加する場合は、申請して承認を待つ。

1. ログイン認証

IDとパスワードの入力でシステムにログインする。

IDはメールアドレスとする。ログイン認証には、devise gemを利用する。

1. ポータル画面

現在、仕様は未定である。

ログインするとまずチャットルームの一覧が表示され、チャットルームに参加許可が出ている場合には、参加可能なチャットルームの一覧も表示する。

1. チャットルームの一覧／検索

チャットルームは、「すべてのチャットルーム」と「自分が参加しているチャットルーム」に分けて一覧表示される。

興味のあるチャットルームの、名称、もしくは、topicsで「検索」した場合、該当するチャットルームの一覧が得られる。その中のいずれかに参加したい場合は、そのチャットルームへの「参加」を「管理人」へ申請する。

管理人は、申請の出ているチャットルームの参加希望者一覧を表示し、個別に許可／不許可を決定できるものとする。（画面未設計）

参加許可の決定結果は、希望者に通知されるものとする。（画面遷移、未設計）

1. チャットルームの作成

誰でもチャットルームを作れる。作成した者が、管理人となる。

「チャットルームの作成」ボタンで、そのチャットルームの名称、topics等を入力できる画面を用意する。（画面未設計）

1. サブ・チャットルームの作成

誰でもチャットルームを作れる？手順は？流れは？（Tomが記述）

1. チャットの一覧（チャット本体）

現在、仕様は未定である。

タイムライン表示？

サブチャットがある場合、メインのチャット（タイムライン？）でどのように表示する？  
サブチャットに移る場合の操作は？サブチャットからメインに戻る場合の操作は？

ページネーションはどうする？（Kaichiの設計）

1. スタンプの使い方（Yuyaの設計）

現在、仕様は未定である。

1. その他の機能

現在、仕様は未定である。

2.2 用語の定義

1. ユーザ(user)

システムの利用者であり、チャットを行う者を指す。

1. チャット(chat)

ユーザの、１回の書き込みの単位。

1. チャットルーム(chatroom)

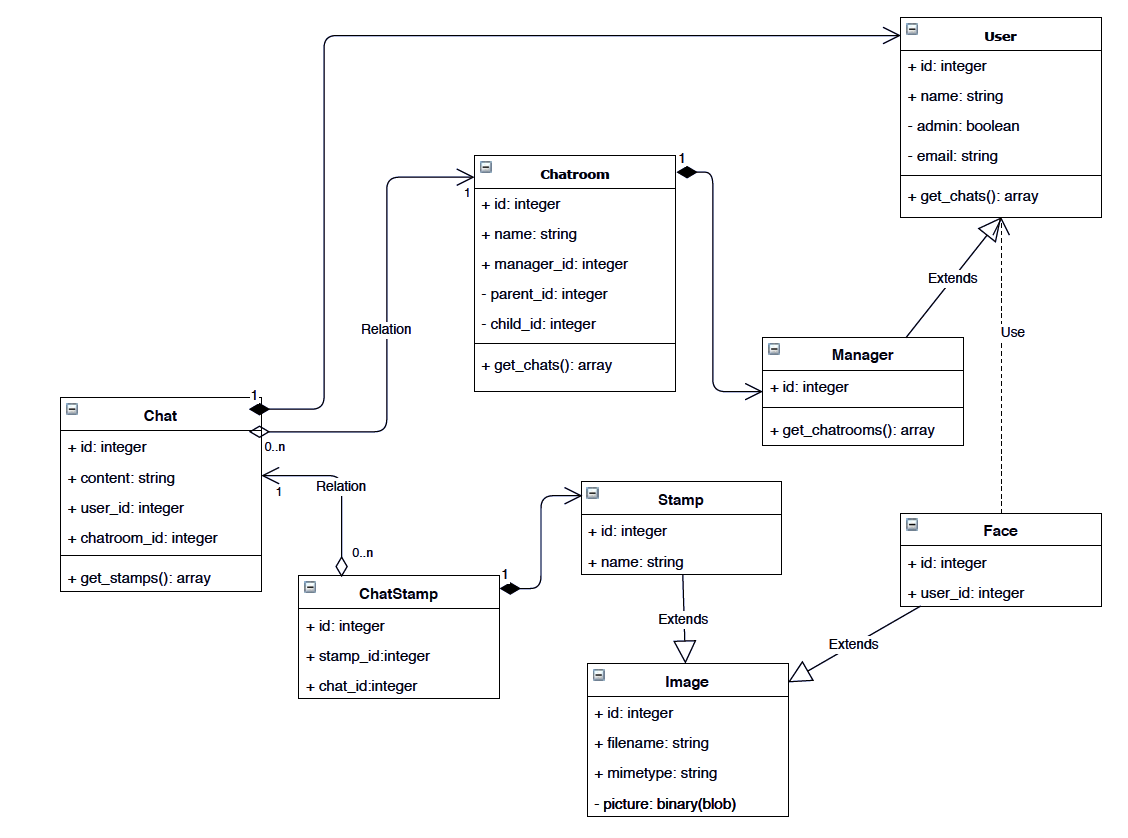
一つのトピックスについて、一連の流れをまとめた画面単位。チャットは必ずチャットルームに属する。

1. スタンプ(stamp)

メッセージ性のある画像で、チャットに対して括り付けられる。

チャットした本人が使用する場合と、別のユーザが応答としてスタンプを使用する場合がある。

# 3, データベース・スキーマ



# 4, 画　面

1. ポータル画面

ログインしていない状態で、何を表示するか。（未定）

1. ログイン画面
2. ユーザ管理画面
3. チャット画面

# 5, 機　能

1. 複数のチャットをまとめてサブチャットとする機能

詳細未定

以上